

平成29年度関東倶楽部対抗新潟第1会場予選競技 組み合わせ及びスタート時間表

(参加者 17倶楽部 ・ 102名)

期日：5月23日(火)

場所：日本海カントリークラブ 中・東コース

(18ホール・ストロークプレー)

関東ゴルフ連盟

1番(中コース)よりスタート

Aクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
1	8:00	野澤 順司	中条	宮沢 重夫	松ヶ峯	鈴木 史敏	十日町		
2	8:09	高橋 正秋	フォレスト	田村 敏明	小千谷	渡辺 吉之輔	紫雲	石川 章司	妙高高原
3	8:18	高橋 憲介	下田城	足立 太郎	新潟	渡辺 正	櫛形	金田 東懼	大新潟・三条
4	8:27	渡部 一典	大新潟・出雲崎	白 源正	ヨネックス	柳村 富雄	阿賀高原	長谷川 修	グリーンヒル長岡
5	8:36	齋藤 満寿美	新津	原田 建実	日本海	津野 樹志	中条	福原 晋平	十日町
6	8:45	片岡 春男	小千谷	堀越 茂	妙高高原	藍沢 敏	新潟	国分 要三郎	大新潟・三条
7	8:54	白 源勇	ヨネックス	清水 正芳	グリーンヒル長岡	生居 慎司	日本海	坂詰 隆一	松ヶ峯
8	9:03	堅田 俊一	櫛形	浅妻 康宏	紫雲	星野 満	下田城	白根 幸雄	フォレスト
9	9:12	土屋 博	阿賀高原	高野 政俊	大新潟・出雲崎	東條 和夫	新津	田村 修	中条
10	9:21	山口 昭夫	妙高高原	梶原 常生	フォレスト	斉藤 光浩	櫛形	塚田 一博	ヨネックス
11	9:30	三母 英二	日本海	滝沢 孝行	松ヶ峯	佐藤 正明	小千谷	玉垣 隆一	下田城
12	9:39	中村 猛	大新潟・三条	鈴木 嘉道	阿賀高原	朝倉 裕治	新津	保坂 恭久	十日町
13	9:48	渡辺 政由	紫雲	土田 一男	新潟	丸山 勉	大新潟・出雲崎	岩坂 聖一	グリーンヒル長岡

10番(東コース)よりスタート

Bクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
14	8:00	本間 義和	中条	佐藤 秀明	小千谷	大泉 一高	新潟		
15	8:09	七里 直樹	ヨネックス	渡辺 泰一郎	日本海	横川 修平	松ヶ峯	山田 貴之	紫雲
16	8:18	工藤 一大	櫛形	岩橋 勉	阿賀高原	内山 洋一	十日町	今井 圭介	妙高高原
17	8:27	外山 政廣	大新潟・三条	石黒 展行	グリーンヒル長岡	松本 重光	フォレスト	田崎 尚志	下田城
18	8:36	大桃 祐介	大新潟・出雲崎	井上 哲也	新津	磯野 隆	中条	佐藤 一喜	紫雲
19	8:45	佐藤 光明	新津	野本 寛	大新潟・三条	内山 嘉雄	松ヶ峯	鈴木 光夫	妙高高原
20	8:54	山田 秀喜	十日町	目黒 学	日本海	和泉 吉郎	大新潟・出雲崎	土田 修一	下田城
21	9:03	小林 健治	新潟	吉岡 和晃	フォレスト	小林 宏幸	ヨネックス	曾根 明	阿賀高原
22	9:12	野上 文範	小千谷	澤田 宏幸	櫛形	林 典昭	グリーンヒル長岡	渡邊 秀吉	中条
23	9:21	金子 雄一	妙高高原	小林 肇	ヨネックス	田村 文雄	松ヶ峯	宇佐美 博昭	下田城
24	9:30	中山 英明	阿賀高原	吉楽 尚生	十日町	椎谷 孝二	新潟	西脇 豊	グリーンヒル長岡
25	9:39	佐藤 政信	フォレスト	神田 久	櫛形	桐生 匠	新津	高橋 好一	小千谷
26	9:48	永田 礼義	日本海	青柳 敏夫	大新潟・三条	渡辺 一弘	紫雲	神保 雅人	大新潟・出雲崎

競技委員長 上村寛男

平成 29 年度 関東倶楽部対抗新潟第 1 会場予選競技

開催日 : 5 月 23 日(火)

開催コース : 日本海カントリークラブ 中・東コース

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「2 打」とする。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ(規則 27-1)
アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
2. ラテラル・ウォーターハザード(規則 26-1)
ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。
3. 修理地(規則 25-1)
修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を定める。ただし、次のものを含む。
スルーザグリーン芝草を短く刈った区域にあるヤーデージマーキングペイント(スタンスへの障害は除く)。
4. 動かさない障害物(規則 24-2)
 - (a) 排水溝
 - (b) 人工の表面を持つ道路に接した排水溝(その道路の一部とみなす)
 - (c) 動かさない障害物と白線でつながれている区域(その動かさない障害物の一部とみなす)
 - (d) 距離標示用の人工のヤーデージマーク(パッティンググリーンの前後のものを含む)
5. コースと不可分の部分
 - (a) 樹木やその他の恒久的な物件に巻きついたり、密着させてあるもの。
 - (b) 小砂利、ウッドチップ、松葉などを使用して舗装した区域。
 - (c) ウォーターハザード内にある人工の壁や杭でできた構造物。
6. 電磁誘導カート用の 2 本のレール
電磁誘導カート用の 2 本のレールは、全幅をもってプレー禁止の修理地とする。ただし、スタンスのみが障害となる場合は、そのままプレーすることもできる。
7. 防球ネット
1 番と 2 番ホール間の防球ネットに球が近接しているためにスタンスや、意図するスイングの区域の妨げになる場合、規則 24-2b(i)により処置するときは、その障害物の中や下を通さずに救済のニヤレストポイントを決めなければならない。
8. パッティンググリーン上で球が偶然に動かされること
規則 18-2, 20-1 は以下の通りに修正される。
プレーヤーの球がパッティンググリーン上にある場合、その球やボールマーカーがプレーヤーまたはキャディーや携帯品によって偶然に動かされても罰はない。その球やボールマーカーはリプレースされなければならない。このローカルルールはプレーヤーの球やボールマーカーがパッティンググリーン上にあり、いかなる動きも偶然である場合にだけ適用する。
注: パッティンググリーン上の球が風、水あるいは重力などの他の自然現象の結果として動かされたものと判断された場合、その球はその新しい位置からあるがままの状態プレーされなければならない。また、そのような状況で動かされたボールマーカーはリプレースしなければならない。

距離表

HoleNo.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT	
AクラスYards	379	390	166	516	341	385	185	527	360	3249	
BクラスYards	379	405	185	516	366	405	202	542	381	3381	
Par	4	4	3	5	4	4	3	5	4	36	
	10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
	369	365	171	359	333	510	175	510	383	3175	6424
	369	391	189	384	353	530	201	532	403	3352	6733
	4	4	3	4	4	5	3	5	4	36	72

競技の条件

1. 参加資格

プレーヤーは競技規定に定められた参加資格を満たさなければならない。

2. 委員会の裁定

委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

3. 使用クラブの規格

『適合ドライバーヘッドリストの条件・付属規則 I(B)1a』を適用する(ゴルフ規則 176 ページ参照)。

4. 使用球の規格

『公認球リストの条件・付属規則 I(B)1b』を適用する(ゴルフ規則 177 ページ参照)。

5. ゴルフシューズ

正規のラウンド中、プレーヤーが金属製・セラミック製、または委員会がそれと同等と認めた鋳を有するゴルフシューズを使用することを禁止する。この条件の違反の罰は競技失格。

6. プレーの中断と再開

(1) 通常のプレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、規則 6-8b,c,d に従って処置すること。

(2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレー中断となった場合、同じ組のプレーヤー全員がホールとホールの間をいたときは、各プレーヤーは委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であったときは、各プレーヤーはすぐにプレーを中断しなければならない。その後、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。プレーヤーがすぐにプレーを中断しなかったときは、規則 33-7 に決められているような罰を免除する正当な事情がなければ、そのプレーヤーは**競技失格**となる。

険悪な状況による中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、参加を取消しとすることがある。

(3) プレーの中断と再開の合図について

プレーの即時中断 :	}	乗用カートに備え付けの無線機を通じて連絡する。
プレーの中断 :		
プレーの再開 :		

と同時に、本部より競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。

7. 練習

ホールとホールの間での練習を禁止する(規則 7-2 注 2)『付属規則 I(B)5b』(ゴルフ規則 181 ページ参照)。

8. キャディー(規則 6-4 注)

正規のラウンド中、プレーヤーが委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。この条件の違反の罰は『付属規則 I(B)2』を適用する(ゴルフ規則 179 ページ参照)。

9. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

注意事項

1. 競技の条件 5 項において規制されるシューズ以外でもパッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
2. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場にふさわしくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。
3. 競技委員会は規則 33-7 に基づき、すべての競技関係者、ギャラリーへの暴言等を含めエチケットの重大な違反があったプレーヤーを競技失格とすることができる。
4. 打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は 1 倶楽部 200 球を限度とする。
5. アプローチ・バンカー練習場は、使用禁止とする。

競技委員長 上村寛男